

クラウドファンディング支援者様対象

## 松竹大谷図書館見学会ご報告

事務局 武藤祥子

「【第5弾】歌舞伎や映画、鮮やかな日本文化の遺産を守り復元する。」プロジェクトで、5万円のご支援をしてくださった方を対象として、11月24日(木)に松竹大谷図書館見学会を開催いたしました。

見学会当日、東京都は11月としては54年ぶりの降雪という天候でしたが、午前(10~12時)と午後(14~16時)合わせて7名の方にご参加頂き、どちらも(1)閲覧室で当館の資料の説明、(2)図書館員体験(台本カバー作り)、(3)書庫内見学の順番で行いました。まず閲覧室で、今回のご支援へのお礼をスタッフ6人で述べたあと、当館の資料の特徴について、今回は、演劇は平成27年3月歌舞伎座公演の『菅原伝授手習鑑』の資料、そして映画は『二十四の瞳』(1954年)の資料をご覧に入れながらご説明いたしました。



復刻印刷する組上燈籠の試作品と関連資料

また閲覧室の机には、今回のプロジェクトのご支援で復刻印刷を進めている組上燈籠絵(複製)と、試作した組み立て完成形(複製)を展示し、手前には舞台面写真(大道具を記録するための細長い写真)などを参考に置きました。また組上燈籠絵『石橋』のモデルと言われる、明治24[1891]年12月深野座で五代目尾上菊五

郎が踊った『雪礫 巖 石橋』の絵本番付(プログラム)や写真集『五世尾上菊五郎』に載っている菊五郎の扮装写真などをご覧頂き、組上燈籠と見比べて頂きました。他に、高倉健さん(『昭和残侠伝』)、原節子さん(『白痴』)、渥美清さん(『友情』)の出演作のポ



スターやロビーカードを額に入れてイーゼルで展示しました。また、12月末まで展示中の閲覧室展示「中村芝翫代々展」の横に、大型のため普段は閲覧室に展示出来ない、昭和42[1967]年4月歌舞伎座の襲名披露大歌舞伎(七代目中村芝翫・八代目中村福助・五代目中村松江・六代目中村東蔵襲名・五代目中村児太郎初舞台)の公演ポスターを額に入れご覧頂きました。

次に、図書館員体験のコーナー(隣の机)に移り、台本カバー作り体験をして頂きました。B5の雑誌に合わせてカットしておいた板目紙(厚紙)を、背表紙の厚さに合わせて折り目を入れ、ボタンホールカッターで穴をあけ、とじ紐を通して和紙で貼り付ける、という流れで作業をして頂き、完成した台本カバーは記念としてお持ち帰り頂きました。



カバーに通した綴じ紐を和紙で貼り付けているところです

その後、当館の書庫をご案内しました。まず、今回のプロジェクトの支援金により、書庫の修理が無事終了し、スムーズな動きを取り戻した事を、実際に書庫を動かしてご報告した後、劇場プログラムや台本を中心に、当館の資料がどのように書架に並んでいるかをご覧頂きました。また、台本カバーへのお名前への記載は見学会にお越しになる方の分を事前に終えていましたので、書庫見学の折に請求番号を手掛かりに、その台本を所定の配架場所から取り出して頂きました。書庫のご案内の後は再び閲覧室に戻り、台本をご覧頂いたりアンケートをお書き頂いたり、あっという間の二時間が終了しました。



歌舞伎座プログラムの書架



映画プログラムの書架



演劇・映画のスチール写真の書架



歌舞伎台本の書架

■ 松竹系 11月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『四季三葉草』				
	『歌舞伎十八番の内 毛抜』	○			
	『祝勢揃壽連獅子』	○			
	『盲長屋梅加賀鳶 加賀鳶』	○			
	『元禄忠臣蔵 御浜御殿綱豊卿』	○			
	『中村橋之助改め八代目中村芝翫・中村国生改め四代目中村橋之助・中村宗生改め三代目中村福之助・中村宜生改め四代目中村歌之助襲名披露口上』			○	○
	『近江源氏先陣館 盛綱陣屋』	○			
	『芝翫奴』				
新橋演舞場	『三婆』	○		○	○
松竹座(大阪)	『笑う門には福来たる 女興行師吉本せい』	○		○	○
博多座	『石川五右衛門』	○		○	○
永楽館	『信州川中島合戦 輝虎配膳』	○			
	『お目見得口上』			○	
	『春重四海波』	○			
巡業(歌舞伎舞踊)	『御目見得ご挨拶』				
	『鷺娘』			○	
	『連獅子』	○			
巡業	中村勘太郎中村七之助錦秋特別公演			○	

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 ■

赤坂RED/THEATER	10月	ワンツーワークス『遠い国から来た、良き日』	プログラム、台本
あうるすぽっと	11月	KAKUTA『愚図』	プログラム
吉祥寺シアター	11月	青☆組『パール食堂のマリア』	プログラム
国立劇場小劇場	10月	『邦楽鑑賞会』	プログラム、床本
国立劇場大劇場	11月	『仮名手本忠臣蔵 第二部』	プログラム
座・高円寺1	11月	てがみ座『燦々』	プログラム
ザ・スズナリ	11月	劇団ジャブジャブサーキット『猿川方程式の誤算あるいは死亡フラグの正しい折り方』	プログラム
サンモールスタジオ	10月	イヌッコロVSシザーブリッツ『ご町内デュエル』	プログラム
シアターX	11月	劇団1980『謎解き河内十人斬り』	プログラム、台本
シアタークリエ	11月	『一人二役 殺したいほどジュテーム』	プログラム
シアターコクーン	11月	『メトロポリス』	プログラム
シアター1010	10月	『サラ・ベルナール』	プログラム
シアタートラム	10月	戯曲リーディング『「子午線の祀り」を読む』	プログラム
		『治天ノ君』	プログラム
渋谷区伝承ホール	11月	『渋谷金丸丸伝説』	プログラム
下北沢駅前劇場	11月	はらぺこペンギン!『鬼ヶ島平八郎一家の乱!』	プログラム
下北沢小劇場B1	11月	大森カンパニープロデュース『いじはり』	プログラム
SPACE雑遊	11月	温泉ドラゴン『或る王女の物語』	プログラム
すみだトリフォニーホール	11月	すみだ北斎美術館開館記念コンサートwith日本フィル「尾上菊之助」	プログラム
帝国劇場	10・11月	『ミス・サイゴン』	プログラム
東演パラータ	11月	劇団東演『琉球の風』	プログラム

(新着資料案内 他社演劇公演資料 続き)

東京芸術劇場プレイハウス	11月	『かもめ』プログラム
博品館劇場	10月	りゅーとびあ発『白い犬とワルツを』プログラム
	11月	『カフェ・パラダイス』プログラム
本多劇場	11月	阿佐ヶ谷スパイダース『はたらくおとこ』プログラム
三越劇場	11月	劇団若獅子『沓掛時次郎』プログラム、台本 『忍の一字 おかしな夫婦ものがたり』プログラム
ミロレーション広尾	11月	『詩森ろばリーディング』プログラム
明治座	11月	『祇園の姉妹』プログラム

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『METライブビューイング2016-17』	○		○		
『RANMARU 神の舌を持つ男～(中略)～鬼灯デスロード編』	○	○	○		
『ハンズ・オブ・ラヴ 手のひらの勇気』	○	○	○		
『いきなり先生になったボクが彼女に恋をした』	○		○		

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■

『ミュージアム』	『胸騒ぎのシチリア』	『ブルーに生まれついて』
『ファンタスティック・ビーストと魔法使いの旅』	『RWBY VOLUME 3』	
『東京国際映画祭公式プログラム』(第27回、第28回、第29回)		
『グッドモーニングショー』	『L エル』	『マダム・フローレンス! 夢見るふたり』
『マイ・ベスト・フレンド』	『メン・イン・キャット』	『ガール・オン・ザ・トレイン』
『ジェイソン・ボーン』	『orange 未来』	『五日物語 3つの王国と3人の女』
『CYBORG 009 CALL OF JUSTICE』	『シークレット・オブ・モンスター』	
『ブレア・ウィッチ』	『GANTZ:O』	『ベストセラー 編集者パーキンズに捧ぐ』
『金メダル男』	『イタズラなKiss THE MOVIE ハイスクール編』	
『何者』	『闇金ウシジマくん ザ・ファイナル』	
『ジャック・リーチャー NEVER GO BACK』	『インフェルノ』	
『手紙は憶えている』	『溺れるナイフ』	『ボクの妻と結婚してください。』
『劇場版 マジェスティックプリンス 覚醒の遺伝子』	『スター・トレック BEYOND』	

■ 演劇雑誌 ■

『AAC』2016年Vol.90	『喝采』2017年3月
『Confetti』2016年DECEMBER Vol.144	『国立演芸場公演ガイド』平成28年12月号
『Confettiかわら本』2016年12月号	『座・高円寺』No.15
『SePT倶楽部 information』	『大向う』平成28年12月号
2016年10月号,11月号	『伝統文化新聞』2016年(126号)
『the座』2016年89号	『日本芸術文化振興会ニュース』平成28年12月号
『あぜくら』2016年11月号	『日本劇作家協会会報 ト書き』2016年57号
『えんぶ』2016年10月号	『日本劇場技術者連盟誌』
『シアターガイド』2017年1月号	2015夏 No.1,2016春 No.2, No.3
『ジ・アトレ』2016年11月	『日本照明家協会誌』2016年11月号
『テアトロ』2016年12月号	『日本舞踊』68巻12月号
『ラ・アルプ』2016年12月号	『邦楽の友』平成28年12月号
『演劇界』2017年1月号,新春特別付録「2017 歌舞伎俳優カレンダー」	

(新着資料案内 続き)

■ 映画雑誌 ■

- |                                    |                         |
|------------------------------------|-------------------------|
| 『NFCカレンダー』2016年12月号                | 『映画テレビ技術』2016年12月号      |
| 『SCREEN』2017年1月号,付録「スター&監督大名鑑2017」 | 『映画撮影』2016 Nov No.211   |
| 『キネマ旬報』2016年12月上旬号,12月下旬号          | 『映画時報』2016年12月号         |
| 『シナリオ』2017年1月号                     | 『映画秘宝』2017年1月号          |
| 『シナリオ教室』2016年12月号                  | 『映画論叢』2016年(43号)        |
| 『ドラマ』2016年12月号                     | 『衛星劇場プログラムガイド』2016年12月号 |
| 『ロケーションジャパン』2016年12月号              | 『松竹(社報)』2016年(196号)     |
|                                    | 『東映キネマ旬報』2016年冬号 Vol.28 |

≫≫ 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書籍 ■

- |   |              |              |
|---|--------------|--------------|
| 『和紙人形の世界 歌舞伎の華 中西京子とやまと鳳』                                       | 中西京子(編著)     | New York Art |
| 『『エリザベート』とクンツェ&リーヴァイの世界』  |              | 日之出出版        |
| 『舞をどり』  | 梅津貴昶(著)      | 淡交社          |
| 『編集後記 悲劇喜劇1966-1993』  | 早川清(著)       | 早川書房         |
| 『演劇映像学2013』 早稲田大学演劇博物館「卓越した大学院拠点形成支援補助金」RA論文集編集委員会(編)早稲田大学演劇博物館 |              |              |
| 『東京芸術劇場の25年』 東京都歴史文化財団東京芸術劇場(企画+編集) 東京都歴史文化財団東京芸術劇場(企画+編集)      |              |              |
| 『都民劇場定期公演記録 70年記念小史 10年間(2006年4月-2016年3月)』                      |              | 都民劇場         |
| 『紀伊國屋演劇賞50年史』   | 紀伊國屋書店事業部(編) | 紀伊國屋書店       |
| 『上岡龍太郎話芸一代』   | 戸田学(著)       | 青土社          |
| 『つかこうへい正伝1968-1982』   | 長谷川康夫(著)     | 新潮社          |
| 『葉っぱのぱはパワーのぱ さっちゃんの大冒険  さっちゃんのヘンテコリン大冒険』                        | 青い鳥創業(編)     | 青い鳥創業        |
| 『ガラスびんの長靴をはいた猫  トム・ブラウン、どんぐりと山猫に会う』                             | 劇団青い鳥(編)     | 劇団青い鳥        |
| 『普通の人々』   | 天衣織女(著)      | 劇団青い鳥        |
| 『市堂令 初期作品選集』  | 劇団青い鳥(編)     | 劇団青い鳥        |

≫≫ お知らせ

来年のカレンダーが完成しました!2017年の開館日は、右のカレンダーにてご確認くださいませ。

来年も当館にお越しくださいませよう、スタッフ一同お待ちしております。

松竹大谷図書館カレンダー2017

\* 印の日は休館日です

1月							2月							7月							8月												
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土						
1	2	3	4	5	6	7	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	12	13	14	15	16	17	18	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	6	7	8	9	10	11	12
15	16	17	18	19	20	21	19	20	21	22	23	24	25	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
22	23	24	25	26	27	28	26	27	28					22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				20	21	22	23	24	25	26
29	30	31												23	24	25	26	27	28	29						27	28	29	30	31			
														30	31																		
3月							4月							9月							10月												
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土						
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1	2	3	4	5	6	7	
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	8	9	10	11	12	13	14	
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	15	16	17	18	19	20	21	
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	24	25	26	27	28	29	30	31					22	23	24	25	26	27	28	
							30							29	30	31										29	30	31					
5月							6月							11月							12月												
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土						
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	3	4	5	6	7	8	9	
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	10	11	12	13	14	15	16	
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	17	18	19	20	21	22	23	
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30		26	27	28	29	30								24	25	26	27	28	29	30	
														31												31							

## 出版

- 『松竹（社報）196号』 2016年11月21日 松竹株式会社  
『松竹社報』第111号（昭和34年7月）を記事に提供
- 『喝采 2017年2月203号』 2016年10月26日 博多座  
『演劇界』昭和37年6月号グラビア（『男の花道』）を記事に提供

## プログラム掲載

- 「中村橋之助改め八代目中村芝翫襲名披露 中村国生改め四代目中村橋之助・中村宗生改め三代目中村福之助・中村宜生改め四代目中村歌之助襲名披露 芸術祭十月大歌舞伎」2016年10月2日～26日 歌舞伎座  
写真集『魁玉歌右衛門』より四世中村芝翫（『楼門五三桐』）・五世中村芝翫（『桐一葉』）を公演プログラムの記事に提供

## 放送

- 『ザ・プロファイラー 夢と野望の人生「私は映画と結婚した 田中絹代」』 2016年11月17日 21:00～22:00（再放送あり） NHKBSプレミアム  
「松竹キネマ蒲田撮影所」「下加茂撮影所」「城戸四郎ポートレート」などのスチール写真を提供

## その他

- 日仏演劇国際シンポジウム「越境する 翻訳・翻案・異文化交流」講演「歌舞伎の劇場の洋式化 東京の事例」（早大演劇博物館研究員 寺田詩麻） 2016年10月25日 早稲田大学国際会議場  
「歌舞伎座場内」スチール写真2点を発表の中での映写に提供

## ＜2016秋の消防訓練＞

飯塚美砂

松竹大谷図書館がある銀座松竹スクエアビルでは、ほぼ半年に一回、防火・防災訓練が行われており、11月16日の9:30から、2階のカフェの厨房より出火という想定のもと、テナントなどから120余人が参加して訓練が行われました。

今回、松竹大谷図書館からは武藤と飯塚の2名が参加です。避難訓練があるという予告は前々からされてましたので、予定時刻近くになると、腰を浮かせ気味で待ち構えていたのに、一向に何の音沙汰なし。火元は2階のカフェという想定だったので、このままでは取り残され火災被害にあう役回り（そんな役はありません…）になってしまうのかしらと心配になりかけたころ、警備員さんが来てくれて火事なので逃げるようにという指示が口頭で伝えられました。後で聞くと、今回「電気系統が故障で、館内放送が使用できない」という設定だったそうで、確かに災害になればいろいろなケースも起こりうるので、そういう場合の訓練も必要ですね。

今回は避難訓練の後に、AED（Automated External Defibrillator: 自動体外式除細動器）の使い方体験講習がありました。最近、公共施設や大きな施設などには多く設置され、目にする機会も多いAEDですが、その使い方はまだまだ知られていないと思います。せっかく、教えていただきましたので倒れている人に遭遇した場合の手順とAEDの使い方をざっくりご紹介します。

1. 肩を叩いて**意識があるかどうか確認**する。
2. （意識がなかったら）**周囲の人を呼び**、119番への連絡とAEDをもってきてくれるよう依頼する。
3. 救急車、AEDを待つ間、呼吸があるかどうか胸の動きを観察して確認する。
4. （呼吸が止まっていたら）**胸骨圧迫**する。（胸部の中央をかなり力を入れて結構早いテンポで押し続ける。）
5. AEDが届いたら開けてスイッチを入れる（ふたを開けた時点で自動作動するタイプもあり）。
6. **AEDの指示に従い**、倒れている人の胸部をはだけ、AEDの中に入っているパッドを右胸は鎖骨下、左側は脇腹近くに貼る。
7. 解析が始まるので、**触らず見守る**。
8. 解析結果によって電気ショックが必要かどうかAEDが教えるので、必要な場合は**誰も触れていないことを確認して**ショックボタンを入れる。
9. 解析が始まるので、その結果に従い、必要なら再度、胸骨圧迫や電気ショックを与えながら救急車の到着を待つ。

倒れている人がいたら是非“おめず臆せず”活用してください。

## 「資料のデジタル化」

講師：国立国会図書館関西館電子図書館課資料電子化係 木下雅弘氏

日時：2016年10月21日13:30～16:30

会場：日本図書館協会会館研修室

参加者：井川繭子

図書館や資料館では昨今、所蔵資料をデジタル化して利用に供する事例が増えてきた。図書館司書もそれらを日常的に扱う者として、デジタル化に関する新しい知識を常にチェックしておく必要がある。今回講師を務められた木下氏は、デジタル化の企画書を作成する業務に携わっておられる方で、最新のデジタル化とそれに伴う著作権事情についてお話し下さった。

### 1. デジタルアーカイブと資料デジタル化

1990年代から行われてきたデジタルアーカイブも年々普及して、様々な分野や機関で行われるようになってきた。黎明期には貴重資料を複製して展示する際に使われていたが、徐々に地域資料などの保存を目的に行われるようになり、現在ではそのメタデータを連携させ、二次利用を促進しオープンデータとして提供する取り組みが行われている。見るためのデータから使うためのデータへ、というのがここ最近のトレンドである。図書館では知的インフラとしてのデジタルアーカイブを実施することになるが、近年デジタルデータや画像の相互利用のための国際規格も整ってきている。つまり今後の資料デジタル化は、コンテンツを「貯める＋見せる＋流通させる」ことであり、標準化を見据えたメタデータの作成が必要である。

### 2. 資料デジタル化に伴う権利処理

図書館では、所蔵資料の保存目的で行う場合、絶版等の理由で入手困難な貴重な所蔵資料であれば、著作権の処理を経なくともデジタル化・館内公開（非営利かつ無償であれば）・一部の複製をすることが認められている。しかし、それ以外は必ず著作権処理が必要となる。著作物一つ一つに対して、著作者の特定・没年調査・連絡先調査・許諾依頼を行うが、この調査を行っても著作権者が不明の場合は、文化庁長官が著作権者に代わって許諾を与え通常の使用料に相当する補償金を供託することで、適法に著作物を利用できる制度「文化庁長官裁定」がある。裁定手続きには数ヶ月かかるが、国立国会図書館デジタルコレクションの裁定著者の割合は、実に全体の60%にもなるそうだ。いかに権利処理が困難な資料が多いかということを示しているように思う。

講義のあとに参加者より質疑応答の時間があつたが、専門図書館の研修会らしく、取り扱いに苦慮しているという所蔵資料の事例はどれも相当特殊なものばかりだった。したがって著作権処理を専門とされている講師の先生が、一旦持ち帰って検討して改めて回答という対応をされていたのも無理からぬことだろう。著作権の問題は図書館に勤務する以上、今後も学んでいかななくてはならないことだと思う。

ちなみに、現在松竹大谷図書館が web 公開しているデジタル化資料は、以下の通りです。

☆江戸時代に出版された人形浄瑠璃の正本目録。一部は画像での閲覧もできます。

《松竹大谷図書館所蔵・義太夫正本検索閲覧システム》

[http://www.dh-jac.net/db1/books/search\\_shochiku.php](http://www.dh-jac.net/db1/books/search_shochiku.php)

☆幕末から戦前までに上演された演劇の興行資料。現在のポスターに該当するものです。

《松竹大谷図書館所蔵・芝居番付検索閲覧システム》

[http://www.dh-jac.net/db1/ban/search\\_shochiku.php](http://www.dh-jac.net/db1/ban/search_shochiku.php)

☆戦後の歌舞伎検閲に使用された上演台本。検閲印や書き込みの跡が残る貴重なものです。

《松竹大谷図書館所蔵・GHQ検閲台本検索閲覧システム》

[http://www.dh-jac.net/db1/books/search\\_shochikudaihon.php](http://www.dh-jac.net/db1/books/search_shochikudaihon.php)

いずれも松竹大谷図書館 HP の「貴重書検索・閲覧サービス」よりアクセスできますので、どうぞご利用下さい。



# 第18回図書館総合展

平成28年11月8日～11月10日／於パシフィコ横浜

図書館総合展は、2016年で18回目を数える図書館関連では国内最大のイベントである。図書館運営者・関連業界が一堂に会し、読書・学習・研究環境についての最新技術と知見を深めるための最大かつ最良の機会となっている。今回11月10日に横浜みなとみらいにある会場を訪ね、当館に関わりの深い(株)インフォマージュ、(株)キハラ、金剛株式会社ブース、当館も紹介して頂いた専門図書館紹介コーナー、「Library of the Year 2016」の最終選考会などを見学した。

まず専門図書館紹介コーナー「こんなにあります！あなたも使える専門図書館」に向かった。ここでは、全国の特徴ある専門図書館が地域別にパネルで紹介され、手前には当館のチラシも含め各館の案内パンフレットが配布用に置かれていた。目の前の当館のチラシの残部が他館に比べ少し多いのが気になったが、ちょうど目の前で当館のチラシを手にとって下さった方があり、心の中でお礼を述べた。会期中の紹介コーナーの様子は、現在も図書館総合展のサイトで写真を見ることが出来る。(第18回図書館総合展会場風景

<https://www.libraryfair.jp/news/5507>)

次に、スピーカーズコーナーで(株)インフォマージュのプレゼンを拝聴した。同社が手掛けるサービスの紹介では、地図など大判資料のデジタル撮影において、資料に掛かる負担を軽減するため資料は動かさず、アーチ状のカメラ移動セット(通称「やぐら」)を組みカメラの方を動かし分割撮影し、その後1枚の画像に合成する、という話や、装丁の固い資料や装丁が劣化し開くと崩壊するような資料を解体する事なく、30度ほど開いた状態でも文字が全面見えていれば、その撮影画像を正面から撮影したかのように補正する、という話が興味深かった。貴重な資料のデジタル化を手掛ける同社では、撮影時の技術もさることながら、資料に負担を掛けない技術や、撮影した画像を加工する技術も重要であることがうかがえた。

一方、インフォマージュの展示ブースでは、PCで長い巻子の画像を見せて頂いた。もちろん分割撮影したものであるが、専用のビューワにより、1本の長い巻子を見ていく感覚でファイルの継ぎ目も感じず、ストレスなく閲覧する事が出来る。将来映画の立看板ポスターなどをデジタル化した際このシステムで管理が出来るといいのでは、と巻子に書かれた流暢な仮名文字を見ながら妄想した。

次に当館へ書架を納品している金剛株式会社のブースに立ち寄った。金剛は熊本に本社があり、展示ブースでは、4月の熊本地震の本震の際、前震で落下した資料に移動書架がつかず転倒した様子が再現展示されていた。その他にも図書館を中心とした震災被害の写真や、その後の様々な図書館における地震対策への取り組みがパネルで紹介されており、大変印象深い展示であった。(金剛株式会社 第18回図書館総合展 出展報告

[https://www.kongo-corp.co.jp/libraryfair\\_2016\\_report.html](https://www.kongo-corp.co.jp/libraryfair_2016_report.html))

老舗の図書館用品の会社キハラの物販コーナーは、図書館で使用しているラベルシールなどのデザインの【図書館グッズ】を求める人で一日中賑わっていた。どうやら図書館で実際に使用されているデザインが図書館好きの来場者の心を鷲掴みにしているようである。もちろん鷲掴みにされた一人として、ラベルのデザインの缶バッチなどを購入した。

最後に「Library of the Year 2016」の最終選考会にオーディエンスとして参加した。

“Library of the Year”は、[特定非営利法人・知的資源イニシアティブ \(IRI\)](http://www.iri.or.jp/) が主催している賞で、図書館における他の図書館の参考になるような優れた活動や独創的で意欲的な取り組みを評価するものである。2006年に始まり、2013年からは毎年授賞式の費用の一部をクラウドファンディングで募集している。実は今回当館も選考対象館として推薦していただき二次選考まで残っていた。だが、最終選考に残った4館は、それぞれ独自の活動や業務のノウハウの蓄積を、データベースの構築やネットなどで積極的に発信し、図書館界全体の発展に貢献しており、当館はその活動においては足元にも及ばないと感じた。特に同じ専門図書館である大阪のエルライブラリーの精力的な活動は、

選考対象館の8分間のプレゼンには収まりきれないほど多彩で、専門図書館界の牽引的存在であり、ぜひ多くの人に応援して頂きたい図書館である。惜しくも大賞には選ばれなかったが、このような図書館が専門図書館の代表として最終選考に残り、それを会場で応援できたことは、同じ専門図書館として大変誇らしかった。(エルライブラリー公式サイト <http://shaunkyo.jp/>)



当館のチラシが手に取られた瞬間を目撃！心の中で感激！



スピーカーズコーナーにおける、インフォマージュのプレゼン



金剛のブースの被災した書架の再現展示



キハラの【図書館グッズ】



Library of the Year 2016 優秀賞のエルライブラリー

## ■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

**公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。**

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2016（平成28）年11月にご支援いただきました

#### 法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

## ■ 年末年始休館のお知らせ ■

平成28年12月27日（火）より  
平成29年1月10日（火）まで

年末年始のため休館とさせていただきます

平成29年1月11日（水）より

通常開館いたします

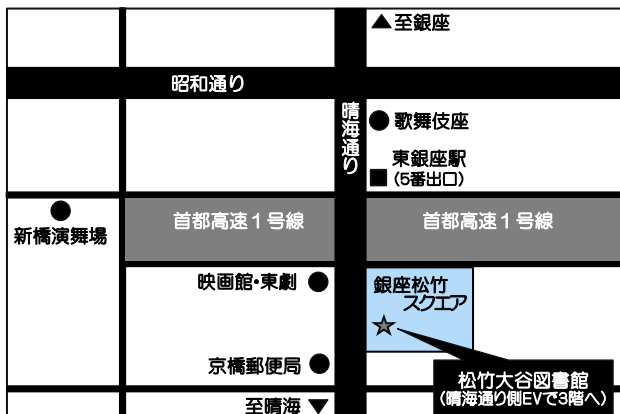
### ■ 編集後記 ■

▼早いもので、今年も残り一か月を切りました。本年中は大変お世話になりました。一年間無事に活動できましたのも、ひとえに皆様のお力の賜物です。本当にありがとうございます。どうぞよい年末年始をお過ごし下さい。

▼12月になり、銀座や有楽町界隈もたくさんの方のクリスマスのイルミネーションに彩られる季節となりました。図書館のスタッフも、エプロンにブローチをつけたりと、小さなところでクリスマスモードになっております。今年はいヴとクリスマスが土日ですから、華やかで賑やかな週末になりそうですね！



MERRY CHRISTMAS!



●利用案内 ●  
開館時間  
平日午前10時～午後5時  
休館日  
土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間  
※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。

●交通案内 ●  
東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分  
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

●入館料 無料  
●閲覧 館内閲覧のみ